

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 7 確かな学力と豊かな人間性をもった子どもが育つ

行動目標 7-1 児童生徒が社会人となるための基礎が培われる (所管課名 教育委員会 教育センター)

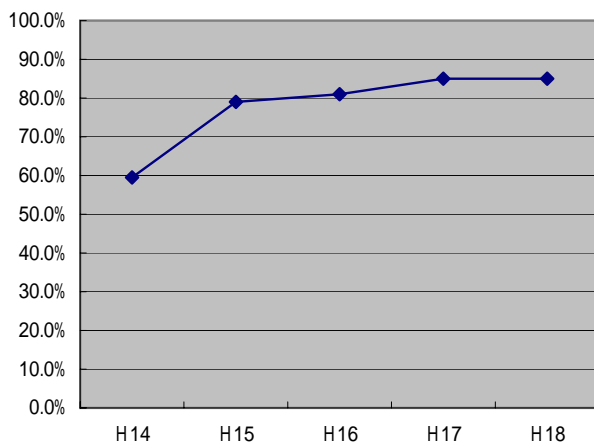
任務 今日的教育課題の解決に向けて、学校・園への支援事業を行う

任務の成果・活動指標の推移

教職員・保護者へのアンケートによる満足度

H14実績	59.5%
H15実績	79.0%
H16実績	81.0%
H17実績	85.0%
H18目標	85%以上

教職員・保護者へのアンケートによる満足度



指標の説明

今日的教育課題の解決にむけて学校・園への支援事業を行う満足度の指標は、保護者及び教職員にわかりやすく把握できるようにするため、アンケート回収総数をもとに、満足度を示す割合(%)で揚げた。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

H17年度体験的実践的研修等の教職員研修事業が27講座888人増加し、教職員満足度が92%で+5%となり、達成できた。

不登校、発達、行動等の課題のある子ども、その保護者や教師への相談支援と障害児への巡回相談を実施。H17年度は1地区(H16年度)から3地区をモデル地区に指定し実施した。その結果、H17年度は巡回相談が136回に増え、満足度が85%で+2%となり、保護者、学校関係者の要望に応えることができた。

市内各学校情報化に対する運用支援・教育環境の充実を図るため、機器の導入・運用支援、図書館ネットワーク、情報データベースの運用、情報研修の充実などを行った。特にセキュリティー、モラルの研修を重点に実施。中学校へのPC新規更新も行った。情報研修の満足度は80%で+7%となり、学校現場へのニーズに応えることができた。

調査研究は課題研究6本も嘱託校・園研究6本による研究事業推進を行った。結果、研究物や発表により、現場への研究成果の還元と拡大を図ることができた。

平成18年度

様々なニーズ・課題に応じた教職員研修を実施し、教職員の資質向上をめざし、109講座164日実施する。

障害のある子どもへの巡回教育相談は、対象を市内全地区の保幼小中で実施する。

情報教育の一層の推進及び情報システム環境の充実のため、前年同様、運用支援の継続。モラル・セキュリティーの研修・研究、HPの更新支援、データベース活用の見直しなど、行う。

研究では学校教育方針を踏まえ、課題研究8本、嘱託研究(6校)により、今日的課題をとらえた研究を行う。

これからの課題、施策等展開の方向性

巡回教育相談等の相談事業の充実と就学指導関係業務との関りを明確にし、特別支援教育体制の整備を図る。

不登校対策事業として、適応指導教室の指導・相談体制の充実を図るとともに、そこでの相談業務実施可能な体制づくりを目指す。

教員の資質向上、今日的課題など教職経験者研修のあり方を見直すとともに、「四日市市学校教育ビジョン」に基づいた研修のあり方について研修体系の見直しを図る。

情報教育通信システム事業において、校内LAN等のネットワーク関連の整備、老朽化した学習用PC等の情報機器の更新を行う。

教育現場のニーズに対応する先行的研究として、本センターでの課題研究、さらに嘱託研究校(4校・園)での実践的な研究結果を、幼稚園・学校へ還元していく。